

コード	402040801
記入日	H22.6.3

課コード	115
課名	農林課
課長名	田本耕一
担当者	浜辺伊三美

事務事業途中評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	診療獣医事業費
----------	---------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	402	施策名称	農林業の振興	項コード	1
基本事業コード	40204	基本事業名称	畜産の振興	目コード	4
事務事業コード	4020408	事務事業名称	診療獣医事業費	細目コード	607
関連計画			法令・条例規則等	新上五島町家畜診療所条例	

計画(PLAN) ※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1)	畜産農家	(対象指標1)	9戸			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	家畜診療:78件(926,650円) 小動物診療:911件(5,589,405円)	*****	*****	*****	家畜診療実績926千円 /家畜診療収入予算 700千円	*****
		①	家畜診療件数	78件	100%	平成21年度
		(達成率分析)	実績926千円/家畜診療収入予算700千円			
		*****	*****	*****	実績5,589千円/小動物 診療収入予算5,589 千円	*****
②	小動物診療件数	911件	100%	平成21年度		
(達成率分析)	住民サービス向上のため家畜以外の小動物の診療も行った。					
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
家畜診療及び畜産指導に関する業務を行うことにより、畜産振興を図る。又、離島である町内で唯一の臨床獣医師であるため、可能な限り小動物診療にも対応する。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		*****	*****	*****	開所日数/開所すべき 日数	*****
		①	開所日数	249日	100%	平成21年度
		(達成率分析)	実績日数249日/計画日数249日			
*****	*****	*****	*****	*****		
②						
(達成率分析)						

実施(DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	①	件	903	903	825	78	78				
	②	件	5,375	5,375	4,464	911	911				911
成果指標	①	件	655	655	577	78	78				
	②	件	4,385	4,385	3,474	911	911				
総事業費C(A+B)	千円		45,595	45,595	32,532	13,063	13,063				
直接事業費A	千円		42,795	42,795	30,432	12,363	12,363				
人件費B	千円		2,800	2,800	2,100	700	700				
内訳	従事職員数	人	0.4	0.4	0.3	0.1	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	45,595	45,595	32,532	13,063	13,063					

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	家畜の診療及び畜産指導のために必要である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	時代情勢や環境の変化に関係なく家畜診療は必要である。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	農家の生産意欲の向上。離島での小動物飼育者の利便性。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	現制度にて充分である。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	診療機関として家畜診療所が存在しなかったら多大な影響がある。
	類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	類似事業がない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	最小限の経費において遂行している。
	人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	現在の人件費を削減することは事業推進上できない。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	適正である。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		有効性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
		効率性	現在のところ、計画を見直す必要はない。
	課題に向けた改善策	特になし	
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
有効性		診療体制の維持に努め、農家や住民の利便性にかなうよう事業を進めること	
効率性		経費の執行については適正に行うこと。	

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。